

グランシップ広場の概要

(文化・観光部文化局文化政策課)

1 グランシップ広場の概要

- ・芝生面積 7,152㎡ (南北65.8m×東西108.7m)
- ・イベント用電源
- ・イベント用給水設備

2 建設計画時における広場に求める機能

- ・西欧の都市を意識した中心としての広場
- ・新駅からの来訪者の受け口、大規模集客の混雑緩和
- ・グランシップと一体利用によるイベント会場
- ・多目的なオープンスペース

3 グランシップ広場の利用状況 (3つの利用形態)

- (1) 大規模イベント等でのグランシップとの一体利用
- (2) 広場のみの専用使用
- (3) オープンスペースとしての自由使用

<利用実績>

利用種別	日数 (27年度)	主な使用事例
(1) グランシップとの一体利用	62日	トレインフェスタ、GSこどものくに、中高生鑑賞事業の駐輪場、音楽の広場、インテリアフェア、総合食品開発展、徳川家臣団大会、住宅フェスティバル、日臨技中部圏支部学会、全国商工会議所観光大会、全国語学教育学会国際大会、世界お茶まつり、大学入学式、成人式など
(2) 広場のみの専用使用	3日	幼稚園の遠足、写真、CM撮影など
(3) 自由使用	—	住民の憩いの場、小学生等の野外活動等

(参考)

東静岡地区県民国際プラザ街区 基本計画策定調査(その1・2)報告書(平成6年3月)(抜粋)

- ・西欧における都市の中核はカテドラルであり、その前には都市広場がとられ、機能的にも象徴的にもこの広場が市民生活の中心になっており、県民国際プラザ街区にもこうした広場が必要である。
- ・新駅からの来訪者の受け口になり、新街区のさまざまな施設への人のアクセスをさばき、大規模集客の混雑を緩和できる。
- ・プラザ施設内で行われるさまざまな催事と連動したイベントにも用いられる。大ホール西側に中心吊大扉が設けられ、広場とは直接空間的につながり一体利用が可能となる。
- ・多目的に使われることを想定し、障害となる構築物は置かずオープンスペースとする。



世界お茶まつり



トレインフェスタ



成人式



自由使用